

5 都市交通に対する住民の声

宮城県と仙台市では、平成16年3月に仙台都市圏内4箇所で「都市交通に関する地域懇談会」を開催し、また、4月には約1万世帯を対象に、「都市交通に関する意向調査(アンケート調査)」を実施し、都市交通に関する貴重な意見を多数いただきました。

地域懇談会における住民の意見

懇談会では、日頃の生活の場で感じている交通問題、暮らしやすい生活を送るための都市交通の課題や改善に向けたアイデアなどが話されました。

○現状の問題点

各地域共通に、道路渋滞・使いにくい公共交通・安全が確保されていない危険な道路等の問題が指摘されました。また、自動車中心の生活がますます進展している状況と自動車に依存せざるをえない状況が話し合われました。



平成16年3月17日 東部地域開催風景
(対象地域：塩竈市、多賀城市、利府町、七ヶ浜町)

○道路の利用環境

これまでの自動車中心の道路づくりから歩行者や自転車が安心して通れる道路づくりを望む声が多くありました。また、緊急時に機能する道路網、生活や産業活動などに対応した道路網などの整備、中心部でのイベント空間としての道路の活用等の意見がだされました。



平成16年3月18日 南部地域開催風景
(対象地域：名取市、岩沼市)

○公共交通の利用環境

既存鉄道が活用できるよう駅前広場、周辺駐車場の整備を進めること、まちの活性化に繋がる買物バスや公共交通利用促進策、仙台市中心部東二番丁通りに集中するバス路線の分散化や自治体バスの相互ネットワーク化等、鉄道とバスの活用に関するアイデアが話されました。



平成16年3月19日 北部地域開催風景
(対象地域：仙台市泉区、富谷町、大和町)

○今後の都市交通政策の方向性

交通弱者の視点に立った政策、財政負担を増大させない政策、安全で安心して歩ける商店街や歩いて楽しい中心部のまちづくりを促進する政策等が提案されました。

また、自動車社会における公共交通の重要性に関する合意形成や地域自ら主体的に政策を検討していくことの重要性が話されました。



平成16年3月30日 仙台地域開催風景
(対象地域：仙台市全域)